

科目区分	専門基礎分野	履修学年	2年後期	単位数	1	時間数	15
科目名	放射線医学			担当教員	遠山 雄一郎		
使用テキスト	1)医学書院 系統看護学講座 臨床放射線医学						
テキスト以外の教材・参考書等							
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>放射線は病気の診断はもちろん、治療に欠かせない医療技術である。しかし、放射線は扱いによっては人体に有害になる。日本は唯一の被爆国であること、東日本大震災時の福島第一原子力発電所の事故の経験があるという歴史的背景から、放射線に対する漠然とした不安を持っている患者がいる。看護職は正しい放射線の知識を知り、そのメリット・デメリットを理解している必要がある。</p> <p>本授業では既習の物理学から知識を発展させ、放射線の概念、人体に対する影響と医学への活用、防護、適切な取り扱いについて学んでいく。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療で使われる放射線の種類と放射線検査が理解できる。 2. 放射線治療の種類が述べられる。 3. 放射線治療のメリットとリスクが理解できる。 							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：自然科学(物理学),解剖生理学,病態学,看護の基本となる技術,回復を促す技術Ⅱ,がん看護学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	放射線とは何か。放射線にはどのような種類があるか。	
2	放射線医学の歴史について 放射線による障害と防護について	
3	放射線検査について(放射線科で扱う検査について)	
4		
5	放射線治療(外部照射)	
6	放射線治療(内部照射)	
7	放射線検査室見学	
8	終講試験 まとめ解説	